

-----編集後記-----

- ◇今月号の特集として、地質調査所における高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する研究を企画しました。原子力発電は既にわが国の総発電量の約4分の1を越え、私達の生活はそれに大きく依存しています。エネルギーと環境の問題は人類共通の最重要課題であり、これらに対する原子力発電の役割はますます大きくなっています。安全性の確保は全ての技術の前提になるべきであり、原子力に対しても国民の関心がとくに高まっているのは衆知の通りです。
- ◇高レベル放射性廃棄物は、原子力発電を通じて必ず生産され、少量ながら既に存在しています。したがって、高レベル放射性廃棄物対策は必須の課題になっています。処分が実際に行われるのは21世紀に入ってからと考えられますが、長期安全性の検証には長い研究期間が必要なために、研究開発は急いで実施されなければならない状況にあります。
- ◇高レベル放射性廃棄物の地層処分技術の開発に際し、地質調査所の研究は関係方面から大きく期待されています。今回の特集号には、科学技術庁予算による原子力平和利用技術の開発研究として、これまでに当所で実施された研究の成果が数多く紹介されています。また、本誌4、6月号と地調月報の第42巻(1991年)5、6月号にも本研究関連の報告が相次いで掲載される予定となっています。
- ◇表紙とグラビアには、20億年前の天然原子炉として広く知られるアフリカ、ガボン共和国オクロ産のウラン鉱石を紹介することにしました。鉱石試料の提供と天然原子炉の解説は、元地質調査所非常勤調査員藤井勲氏、鉱石の写真提供並びに解説は地質標準課長豊遙秋氏にそれぞれお願いしました。またグラビアの後半には、砂岩の内部構造とその透水性を知るために作製された薄片の写真に掲載しました。これらの表紙とグラビアの詳細は、本文中の報告をご覧ください。

-----磯部一洋 記-----

地質ニュース編集委員会

委員長：小川克郎
 副委員長：佐藤興平・鈴木尉元
 幹事：磯部一洋・尾上 亨
 委員：三田直樹・岡村行信・三村弘二・笹田政克・小玉喜三郎・武居由之・山口 靖・浦辺徹郎
 事務局：総務部業務課広報係
 〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所
 地質ニュース編集委員会
 事務局 Tel. 0298-54-3520
 Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

1991年3月号

原稿募集中！

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行25字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース	第439号	1991年3月号
	定価	¥700 千実費
1991年3月1日	発行	
編集	工業技術院地質調査所	
発行人	林 久 雄	
発行所	株式会社実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	〒102	
	Tel. (03)3265-0951 (代表)	
	振替口座 東京1-32466	
	麹町局私書箱第21号	
総発売元	株式会社実業公報社	

©1991 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。